

第 570 回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和 8 年 6 月 3 日 (水) 午前11時より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8 名
○出席委員数 6 名
○出席委員の氏名 (敬称略・委員は五十音順)
林 新一郎 委員長
井上 裕子 副委員長
笹本 正治 委員
中谷 富美子 委員
樋代 章平 委員
南澤 光弥 委員
○欠席委員の氏名 (敬称略)
新芝 正秀 委員
中山 潔 委員
○放送事業者側出席者名
須垣 有司 (代表取締役社長)
早川 英治 (取締役 報道制作・デジタル推進担当)
小林 修 (取締役 編成業務・放送番組審議会担当)
伊藤 晴彦 (報道制作局長)
畠田 哲也 (編成業務局次長 兼 放送番組審議会事務局長)
手塚 かおり (編成業務局次長 兼 編成部長 兼 視聴者室長)
黒岩 祐治 (報道制作局制作部長 兼 デジタルメディア部長)
飛田 修一 (長野放送管財ディレクター)

4. 議題

(1) 番組審議

『NBSフォーカス∞信州 DJ KOOの軽井沢パンDO DANCE
～心おどる名店めぐり～』

令和 8 年 4 月 10 日 (金) 午後 7 時～ 7 時 57 分 放送

(2) 視聴者対応報告（令和8年5月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

主な意見・感想

- ・取り上げた5軒の店がそれぞれ異なる特徴を持っており、全体として楽しめる番組であった。
- ・DJ KOOさんの起用は意外性があった一方、パンに関する豊富な知識や愛情、食レポや聞き出しの力が十分に伝わり、良いキャスティングだった。
- ・TRFの楽曲が使われていたことも含め、世代によっては親しみや懐かしさを感じる構成であった。
- ・パンをおいしそうに見せるカメラワークや断面の見せ方、焼きたての質感の表現は効果的で、パンの魅力がよく伝わった。
- ・軽井沢とパンという組み合わせは相性が良く、相対的に楽しい番組だった。
- ・軽井沢のパン文化、パンの聖地という位置付けについては興味深かったが、その裏付けや歴史的な背景をもっと掘り下げてほしかった。
- ・「なぜ軽井沢がパンの聖地なのか」「なぜその5店を選んだのか」「誰を主なターゲットにした番組なのか」がやや見えにくかった。
- ・冒頭で示された店やテーマの見せ方と、その後の紹介順が一致しておらず、分かりにくさがあった。
- ・DJ KOOさんがパン好きになった経緯は、番組冒頭に置いた方が視聴者に伝わりやすかったのではないかと。
- ・店の位置関係や軽井沢町と御代田町の関係などについて、地図などでもう少し丁寧な説明が欲しかった。

- ・有名店の紹介に加え、より小規模な店や地域に根ざした店を深掘りしてほしかった
- ・パン文化そのものや酵母、製法、職人のこだわりなど、より深く掘り下げれば、さらに厚みのある番組になったのではないか。
- ・食品を扱う店内での出演者の服装や髪形について、視聴者によっては気になる可能性がある。
- ・今回の番組をきっかけに、長野県内のパン文化を取り上げる番組が制作できるのではないか。

(2) 視聴者対応報告（令和8年5月分）

資料に基づき、令和8年5月分の視聴者対応について、編成部より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・第569回番組審議会（令和8年5月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和8年5月分）
- ・モニターレポート

『NBSフォーカス∞信州 DJ KOOの軽井沢PANDODANCE
～心おどる名店めぐり～』

- ・次回審議番組DVD

『雪上に刻んだ軌跡 キング・オブ・スキー 渡部暁斗』

令和8年5月10日（日）午後2時～2時55分放送

- ・次回審議番組資料
- ・BPO報告（NO. 290）
- ・民間放送ニューズレター（2251号）

以上